

男女共同参画コラム

女性研究者の  
シスターフッド

水野 紀子  
法学研究科  
教授



40年以上前、私が大学生の頃には、ゼミに女子学生を入れない教授がいた。まして研究者を志しても、女性は就職できないからと指導を引き受けない教授は、少なくなかった。一生結婚しないことを条件にされた同年代の同業者もいる。私の指導教授は、時代を突き抜けたリベラルな方であったのだと痛感する。

わずかな女性研究者の言動が、「女性は」という主語で語られる時代であった。私のしでかすことが、この主語で語られて、後輩の女性たちに迷惑をかけることが、長い間、肩に乗った重荷であった。でも塞翁が馬で、今となっては、その重荷を下ろし、後輩の優秀な女性たちの活躍が自分のこと以上に嬉しく、ほれぼれと楽しめる。

東北大学法学部の女性教員比率は、全国の法学部の中でも抜群の高さを誇る。しかし女性だから優遇人事をしたわけでは決してない。可能な最良の候補者を選んだ結果である。ただ候補者からみたとき、一流の女性学者が家庭を持ち育児と両立している環境は、魅力的ではあったろう。シスターフッドの連帯が、女性活躍の基盤であることは、たしかだからである。

東北大学サイエンス・エンジェル  
—女性研究者支援モデル育成—



東北大学サイエンス・エンジェル(SA)は、主に高校生を対象に出張セミナーを行っています。今年は山形県立山形西高等学校、宮城県宮城第一高等学校、山形県立山形東高等学校の生徒に対し、自身の研究内容や進路選択についてのプレゼンテーション等を通じ、研究生活の様子や本学の研究環境について伝えました。また、母校出張セミナーとして、SA1名が吉祥女子高等学校にて発表を行いました。12月15日には東北大学サイエンスホールにて、東北電力(株)とのコラボレーションプロジェクト「サイエンス&エネルギーワークショップ」として、小学4年生～6年生を対象とした科学イベント「メリー☆サイエンス」を実施しました。その他、SAスキルアップ研修として、サイエンス・エンジェル3名が学術フォーラム「学術の未来とジェンダー平等～大学・学協会の男女共同参画推進を目指して～」に参加し、大学・研究機関や学協会におけるジェンダー平等の推進等について学びました。

TUMUG スケジュール

1月 January

15 水 女性研究者応援チャリティ  
新年会  
会場/レストラン萩  
(片平キャンパス)  
開催時間/18:00~19:30  
対象/本学女性教授・名誉教授、  
共同参画へご支援いただける  
教職員等  
参加費/10,000円  
(飲食代および男女共同参画  
基金へのご支援を含む)

24 金 本部  
締切 ベビーシッター  
利用料等補助(第3回)  
対象/育児を行う教員、技術職員、  
ポスドク、博士学生等(男女)

2月 February

5 水 第10回TUMUG Café  
「支援制度を活用しよう!」  
会場/男女共同参画推進センター  
(片平キャンパス)  
開催時間/12:00~13:30  
◆途中入退場自由  
対象/東北大学に所属する教職員・  
大学院生・学生(性別不問)

15 土 第2回次世代対象セミナー  
「研究者ってなに?~SA OG編~」  
会場/流体科学研究所 G・COE棟  
セミナー室  
(片平キャンパス)  
開催時間/13:30~15:30  
対象/女子学生・大学院生、女子中高生、  
その他東北大学サイエンス・エン  
ジェルに興味のある方

3月 March

5 木 明日をソウゾウするあなたへ  
~女性科学者への道案内~  
会場/知の館  
(片平キャンパス)  
開催時間/10:30~18:00  
対象/高校1年生~高校2年生(女子)

6 金 本部  
締切 研究支援要員  
対象/出産・育児・介護等を行う教員・  
技術職員(男女)、国の審議会  
委員等の要職に就く女性教員・  
技術職員  
本部  
締切 東北大学サイエンス・エンジェル  
(第1回)  
対象/自然科学系部局に所属する  
大学院女子学生

※詳細はTUMUG Webをご覧ください。



TUMUG

Jan.  
2020  
Vol. 16

「TUMUG」とは、「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(回結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクリロニム)。東北大学が「紡ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして広がっていくことを目指しています。



第16回東北大学男女共同参画シンポジウムを開催

ロジカルな理解と感性的な想像からなる「共感力」にフォーカスをあて、ドライな関係性である職場であっても、共感しやすいシステムを作れる可能性を模索しました。「共感力」を感覚や感情だけではなく、論理的思考を伴う「技術」として捉え、共感力の養い方について議論しました。

左より大野英男総長、伊達美和子氏、相田美砂子氏、  
埼玉大学みんなのトイレプロジェクト代表 岩浪帆乃氏、  
平川新氏、大隅典子センター長

Headline News

第16回東北大学男女共同参画シンポジウム「共感の技術」を開催しました。

感覚や感情だけではなく、論理的思考を伴う「技術」としての「共感力」。

第1部では、来賓の平川新氏(宮城学院女子大学 学長)からご挨拶をいただいた後、第6回澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞授賞式および本賞受賞の相田美砂子氏(広島大学 理事・副学長)、奨励賞受賞の埼玉大学みんなのトイレプロジェクト代表 岩浪帆乃氏による受賞講演が行われました。第2部では、「森トラストの人材育成について ~男女ともに働きやすい社会の創造を目指して~」と題し、伊達美和子氏(森トラスト株式会社 代表取締役社長)による特別講演が行われました。第3部では、梅田恵氏(EY Japan株式会社 D&IAソシエイトディレクター)、直江清隆氏(文学研究科 教授)、倉片三千代氏(東北大学病院産婦人科助教)の3名のパネリストに、平川氏も加わり、「共感の技術」をテーマにパネルディスカッションが行われました。「共感力」を論理的思考を伴う「技術」として捉え、出産や育児といったライフイベント後も働きやすい、共感の持てる職場環境を構築するにはどうしたらよいかを模索しました。当日は、約140名(関係者含む)の方にご参加いただきました。



会場の様子



伊達美和子氏

パネルディスカッションの様子

日 時: 12月21日(土) 10:00~13:00 / 13:15~意見交換会(昼食会)  
会 場: さくらホール(片平キャンパス) 対 象: 学内教職員、学生、一般市民の方

各記事の詳細および当センターの活動予定は、TUMUG WebやSNSをご覧ください。



東北大学男女共同参画推進センター

Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL. 022-217-6092

所在地 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1  
Mail office@tumug.tohoku.ac.jp  
WEB http://tumug.tohoku.ac.jp/



両立支援
 顕彰制度
 次世代育成
 女性リーダー育成
 イベント

むらさきせんたいはぎ

## 2019年度 第3回東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」受賞者 決定

第3回東北大学優秀女性研究者賞「紫千代萩賞」では、計22名の申請を受け、人文・社会科学分野、理学・工学分野、農学・生命科学分野、医歯薬学・保健分野の4分野から各1名、合計4名の受賞が決定しました。受賞者には、表彰状ならびに副賞(研究教育費として1名あたり25万円)が授与されます。



詳細は上記のQRコードより閲覧可能です。

### 人文・社会科学分野

朱 琳

国際文化研究科 准教授

受賞課題:

近代日本の中国学の編成・連鎖・再生産に関する総合的研究



主に近代日中知識人の知的連鎖と文化交流、とりわけ、明治・大正期の日本思想と清末民国初期の中国思想の関連および影響関係について研究しております。例えば、中国史像と政治構想における内藤湖南と梁啓超との比較などがそれです。そして、戦前の画家たちのアジアイメージにも大変興味があり、関連の絵画作品や日記類、現地通信などを最近調査はじめております。

今後の抱負:

中国と日本の近代史は解けがたく絡み合っているため、研究を続けるうちに、思想文化および人的交流のつながりの深さに気づかされました。どちらか一方の思想研究だけでは見えてこないものが、双方の鏡に映し出されることで見え始め、それぞれのもつ意味をより明確に捉えることができるようになります。近代日本の中国学を総合的に研究し、日本・中国・西欧の交差する近代の知的システムを動的に考察することは大変大きな作業ではありますが、今後その研究構想を具体化すべく、着実に研究業績を積み重ねていきたいと思っております。

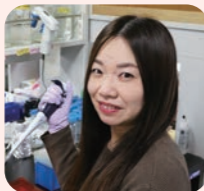
### 農学・生命科学分野

吉川 貴子

医学系研究科 助教

受賞課題:

大脳皮質発生過程の神経幹細胞内 mRNA 輸送機構の研究



大脳皮質は哺乳類でもっとも発達した脳の構造です。脳が発達するためには多くのニューロンが生み出される必要がありますが、実はニューロン産生は胎児期に完了します。胎児期の神経幹細胞という幹細胞が、自身の数を増やし、分化して機能的なニューロンを作ります。この神経幹細胞の増殖・分化は様々な分子機構によって制御されていますが、私は細胞周期促進因子のサイクリンD2という分子に着目しています。神経幹細胞は丈の長いユニークな形をしており、サイクリンD2のmRNAが神経幹細胞の突起先端部に輸送されるメカニズムとその意義について興味をもって研究しています。

今後の抱負:

研究面では、今現在行っている神経幹細胞内の細胞周期促進因子サイクリンD2のmRNA輸送が、大脳皮質の進化に貢献しているのか、哺乳類以外の動物種を解析する手法に着手し始めました。色々な先生方のお力添えで研究を進めており、研究は一人ではできないことや新しいアイデアを生み出す楽しさを改めて実感しています。新しい概念を提唱し、その研究成果を発信できるように精進していきたいと思っております。教育面では、大学院生や学部生との時間をもっと持てるように、自分の時間をうまく調整して、十分な議論と研究指導を行うことが目標です。

### 理学・工学分野

関口 仁子

理学研究科 准教授

受賞課題:

少数核子系散乱高精度測定による三体核力の研究



原子核の中で働く核力、なかでも三体力と呼ばれる核力に関する実験研究を進めています。三体力は、中性子と陽子にもう一つの核子が近づくことで新たに生じる核力です。元素合成の鍵となってくる中性子過剰な原子核や、超新星爆発や中性子星の性質の理解に三体力が重要な役割を果たすのではないかと考えられています。私のグループでは、少数系というプローブを駆使して、三体力の性質を明らかにする研究を進めています。

今後の抱負:

私は、原子核の中で働く三体核力(三体力)という核力の研究を行っています。長くこの研究に携わっていますが、これまで、三体力の「存在の証明」、そして「実験による理論の検証」という立場で研究を進めてきました。いよいよこれから「実験から三体力を決める」方向に舵を切りたいと目論んでいます。まさに我々の実験データが試される時でもあり、うまくいけば、その先に広がる新しい物理が開ける時になるだろう、と考えています。

### 医歯薬学・保健分野

齊藤 繭子

医学系研究科 准教授

受賞課題:

途上国における小児下痢症関連ウイルスの疫学研究



この研究では、乳幼児の下痢症の原因となるウイルス感染と下痢症発症の実態を明らかにするため、ペルーの新生児を約2年間経過観察し、定期的、および下痢症時に採取した便検体中のノロウイルスをPCR法で検出し、研究参加者の一部ではさらにサポウイルスをPCR法で検出しました。その結果、これらのウイルス感染は0-1才児に高い頻度で起こり、下痢症に有意に寄与し、感染後に長期間排泄されることがわかりました。さらに、検出されたウイルスの遺伝子解析から、ウイルス遺伝子が多様性に富むことで、同一宿主(同じ人)に同じウイルスの感染が頻繁に起こる可能性が示唆され、ワクチン開発には異なる遺伝子型の抗原を複数数合める必要があるという結論に至りました。

今後の抱負:

今回のテーマになったヒトノロウイルスは、1960年代に発見されてからずっと不可能だった培養技術の開発が進み、研究や対策が大きく変化する転換期にきています。ウイルス、特にRNAを遺伝子に持つウイルスは遺伝子変異を続けて進化し、ヒトの免疫から逃れ続けていることが徐々に分かってきていますが、ヒトの体内での感染防御についての研究はこれからの課題です。ヒトの体内でしか増幅できないウイルスが私たちの生活環境でどのように維持されているかがわかれば、感染症の制御に役立つと考えています。

## 2020年度 TUMUG支援事業のご案内

2020年度「TUMUG支援事業(男女共同参画・女性研究者支援事業)」を下記の通り実施します。公募要領をご確認のうえ、ぜひご応募ください。

### 研究支援要員

両立支援
 女性リーダー育成

研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助

対象者 ○出産・育児・介護等を行う教員・技術職員(男女)  
○国の審議会委員等の要職に就く女性教員・技術職員

### ネクストステップ研究費

女性リーダー育成

新規の研究課題の遂行や、研究成果の公開に必要な研究費の支援

対象者 女性教員(准教授、講師、助教、助手)

### 注意事項

※プログラムによって対象と締切が異なります。  
※各局担当係を通じての申請となります。**各局における締切**にご注意ください。  
※プログラム内容を変更する場合がございます。詳細は、追って公開される要項をご確認ください。

### ベビーシッター利用料等補助

両立支援

研究・教育と育児の両立に必要なベビーシッター利用料等の補助

対象者 育児を行う教員、技術職員、ポスドク、博士学生等(男女)

### 東北大学サイエンス・エンジェル

次世代育成

出張セミナー、オープンキャンパス、科学イベント等の企画・実施

対象者 自然科学系部局に所属する大学院女子学生

### スタートアップ研究費

女性リーダー育成

新規採用の女性教員に、研究スタートのための研究費を支援

対象者 新規採用の女性教員(助教以上)

### 仙台Iゾンクラブ 東北大学大学院女子学生のための 国際学会発表渡航支援事業

次世代育成

海外で開催される会議・シンポジウム等の旅費支援

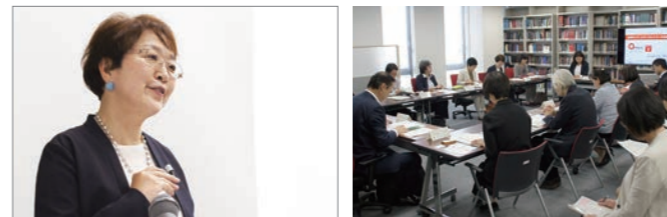
対象者 大学院女子学生

### お問い合わせ先

男女共同参画推進センター  
☎ 022-217-6092  
✉ office@tumug.tohoku.ac.jp

## 開催報告

### 全国ダイバーシティネットワーク組織 2019年度 東北ブロック会議・勉強会



平成30年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(全国ネットワーク中核機関(群))」全国ダイバーシティネットワーク組織 2019年度 東北ブロック会議・勉強会を開催しました。会議では、東北ブロックのネットワーク構築を図り、機関相互の連携を深めるため、各幹事大学のグッドプラクティスをはじめとする有益な情報の共有や意見交換をするとともに、勉強会では岩手大学の宮本ともみ副学長をお招きし、岩手大学におけるダイバーシティ推進に関する取組実績についてご紹介いただきました。勉強会には約40名の方にご参加いただきました。

開催日:10月3日(木)  
●東北ブロック会議 時間:11:00~12:30  
会場:男女共同参画推進センター(片平キャンパス)  
●東北ブロック勉強会 時間:13:00~15:30  
会場:知の館 3階講義室(片平キャンパス)

### 第2回スキルアップセミナー 「プレゼンを制する者が研究を制す! プレゼンする際に役立つ デザインの基本」



第1回に引き続き「難しい分野を、分かり易く、美しく」をモットーにサイエンスアートや科学技術の情報可視化に取り組まれている佐藤暁子先生(女子美術大学 特任准教授)を講師にお迎えし、研究者や学生が実践的に活用可能な「ポスターや口頭発表の資料作成の際に知っていると便利なデザインの技術」についてご講演いただきました。約65名の方にご参加いただき、活発な質疑応答も行われました。参加者からは、「分かりやすく、実用的なテクニックが多く、とても勉強になった」「研究者とデザイナーのコミュニケーション方法についても参考になった」などの感想がありました。

日 時:10月31日(木)13:00~14:30  
会 場:金属材料研究所 2号館1階講堂(片平キャンパス)